

人・農地プラン

市町村名	集落/地域名	当初作成年月	更新年月(1回目)	更新年月(2回目)	更新年月(3回目)	更新年月(4回目)
津市	香良洲地域	H28. 7	H30. 11	R3. 3	R4. 2	

1. 今後の地域の中心となる経営体(担い手)

現在、中心経営体(担い手)として人・農地プランに掲載されている人数:7名

2. 1から見た地域における担い手の確保状況

~~担い手は十分確保されている~~ / 担い手はいるが十分ではない / 担い手がいない

※ 「備考」には、活用する県単独事業などの施策の内容、経営発展に向けて取り組む内容で特筆すべき事項があれば記載します。

3. 将来の農地利用のあり方

取組事項	対応
担い手に集積・集約化する	○
担い手の分散錯圖を解消する	
新規参入を促進して、新規参入者に集積・集約化する	
耕作放棄地を解消する	
その他[右欄に自由に記載]	

4. 3についての農地中間管理機構の活用方針

取組事項	対応
地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○
農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○
担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○
その他[右欄に自由に記載]	

5. 今後の地域農業のあり方

取組事項		対応	今後の地域農業のあり方(地域の中心となる経営体とそれ以外の農業者を含めて) コメント
生産品目の明確化			水稲においては、担い手がいないことから近隣の土地利用型農業者を中心とする経営体へとし、農地集積を図り、作業の効率化と規模拡大により安定経営を行い、地域の農地・農業を守っていく。水路等の管理は農地所有者が行う。 果樹(梨)では、高付加価値化に取り組むとともに直販等による経営の安定を目指す。
複合化			
6次産業化			
高付加価値化	○		
新規就農の促進			
その他[規模拡大]	○		